# CD カセットコンポシステム

# 取扱説明書

型名 fuji-700

## MICRO HIFI SYSTEM

この取扱説明書は弊社が作成したサンプル品でございます。
用紙サイズは A5 で作成しております。

フジ電器出版

# 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、 財産への損害を未然に防止するため、 必ずお守りいただくことを、 次のように説明しています。

■表示内容を無視して、 誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度、 次の表示で区分して説明しています。

**⚠警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**⚠注意** 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただきたい内容の種類を次の絵表示で区分して説明しています。

( 下記は絵表示の一例です )

**このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。**

**このような絵表示は、 してはいけない「禁止」内容です。**

**このような絵表示は、 必ず実行していただく「強制」内容です。**

## ⚠警告

**電源コードやプラグを傷つけない**

無理な折り曲げ、 ねじり、 加熱、 加工、 重量物の下敷きなどは電源コードの皮膜の破損、 芯線のむき出しの原因となり、 ショートや絶縁不良による火災や感電につながります。

●プラグを抜くときは根本を持ち、 まっすぐ抜いてください。

●修理は販売店にご相談ください。

## 異常が発生したときは電源を切り、 電源プラグを抜く

そのまま使うと、 ショートや絶縁不良で発熱し、 火災や感電の原因になります。

下記の症状の場合は絶対に正しく処置してください。

○煙が出る　○異常に熱い　○異常なにおいや音がする　○内部に水や異物が混入した。

## 分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があります。 分解や改造は、 火災・感電・故障の原因になります。

●修理・調整は販売店にご依頼ください

## 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

## AC100V(50/60Hz)の電源電圧で使用する

日本国内専用です。 それ以外の電源電圧で使用すると火災・感電・故障の原因になります。

●タコ足配線などの場合も、 加電流で発熱し、 火災・故障の原因になります。

## 電源プラグは根元まで差し込む

不完全な差し込みは発熱による火災・感電の原因になります。

●傷んだプラグは使用しないでください。

## 雷が鳴り出したら電源プラグに触れない

落雷すると誘電により感電の原因になります。

## 水をかけたり濡らしたりしない

内部に水が入ると、 ショートや絶縁不良で発熱し、 火災・感電・故障の原因になります。

●内部に水が入った場合は、 使用を停止し、 販売店にご相談ください。

# ⚠注意

## 不安定な場所や振動する場所に置かない

本機が落下し、 ケガや故障の原因になります。

●本機の上にものを置いたり乗ったりしないでください。

## 風通しの悪いところや狭い場所に置かない

内部に熱がこもり、 高温になると機器が変形したり、 発熱· 火災 · 感電の原因になります。

●設置の際は壁から 10cm 以上離してください。

## 直射日光のあたる場所や温度が高い場所に置かない

機器表面の部品が劣化 · 変形し、 内部回路に悪影響が生じることでショートや絶縁不良で発熱し、火災 · 感電の原因になります。

●ストーブの近くなどもご注意ください。

## 油煙や湯気、 湿気、 ほこりが多い場所に置かない

本機内部や端子部に水やほこりが入り、 内部回路に悪影響が生じることでショートや絶縁不良で発熱し、 火災 · 感電の原因になります。

## 長期間使用しないときは、 電源プラグを抜く

ほこりの堆積によりショートし、 火災 · 感電 · 故障の原因になります。

●プラグは時々点検してください。

## 移動する場合は電源を切り、 コード類を全て外す

接続した状態で移動するとコードが傷つき、 火災 · 感電の原因になります。 また、 機器が落下し、ケガの原因になります。

## 本機の上にものを置いたり、 乗ったりしない

転倒や落下などによりケガの原因になります、 また、 重量で筐体が変形し、 放熱効果の悪化や内部回路に悪影響が生じることでショートや絶縁不良で発熱し、 火災 · 感電の原因になります。

●特に小さなお子様にはご注意ください。

# スピーカ設置のご注意

## ⚠警告

### スピーカケーブルを引っかかりやすい場所に這わせない

つまずいて転倒したり、 スピーカ落下により、 ケガや事故の原因になります。

### 不安定な場所に置かない

危険ですので傾いた場所や土台の不安定な場所には置かないでください。 スピーカ落下により、ケガや事故の原因になります。

## ⚠注意

### スピーカの上に電子機器を置かない

磁力によりデータが消失する可能性があります。

### スピーカに衣類をかけたり、 ぶら下がったりしない

スピーカが転倒し、 事故やケガの原因になる恐れがあります。

### スピーカケーブルの上に重いものを載せない

ケーブルを機器の下敷きにしたり、 家具や棚の間に挟みこむと、 皮膜が破損し、 火災や事故の原因になります。

### 非防磁スピーカをテレビの近くに置かない

非防磁スピーカをテレビの近くに設置する場合は、 画面に色ムラが生じることがありますので、20cm 以上離して設置してください。

MEMO

床に直接置いて低音がこもるように感じられるときには、 ブロックなどのしっかりした台の上に置くと、低音が床に響かず、 スッキリとすることがあります。

# CD 使用上のご注意

## ⚠警告

### レーザに注意

本機で使われているレーザ光が目にあたると危険ですので、 レンズを直接真上から見ないでください。 視力障害の原因になります。

**クラス 1 レーザ製品について**
本機は、 レーザシステムと CLASS 1 LASER PRODUCT を内蔵しています。 弱いレーザ光のため、 人体に大きな影響はありませんが、 レーザ光線による視力低下を防ぐために、 絶対に本機を分解しないでください。

### ディスクホルダ ( トレイ ) は必ず閉じておく

本機には精密レンズが内蔵されています。 この部分にほこりが付かないよう、 ディスクホルダ ( トレイ ) は必ず閉じてください。

●レンズに手を触れないでください。

●金属などの異物を入れないでください

### ディスクの挿入口に手を入れない

閉まるときにはさまれてケガの原因になることがあります。 特にお子様にはご注意ください。

### 結露 ( 露つき ) 現象について

**■結露 ( 露つき ) とは**
冬季など、 暖房のきいた部屋の窓ガラスに水滴が付くことがあります。
このような現象を結露 ( 露つき ) と申します。
**■結露 ( 露つき ) が発生する状況**
・暖房を始めた直後の部屋に移動させたとき
・湿度の高い場所に持ち込んだとき
・冷たい場所から、 急に暖かい場所に持ち込んだとき
・エアコンのそばなど、 冷風が直接当たる場所で使用するとき
**■結露 ( 露つき ) が生じた場合**
・正常なディスクの読み取りができず、 プレーヤが正しく動作しないことがあります。
・電源を入れ、 20 ～ 30 分待ってからご使用ください。

# コイン型電池に関するご注意

## ⚠警告

### コイン型電池は、 幼児の手の届く場所に置かない

コイン型電池をお子様やペットが飲み込んだりすると、 中毒の原因になります。 もし、 お子様やペットが飲み込んだ場合は医師に相談してください。

### 電池から漏れた液には触れない

液漏れが発生し、 液が手や衣服に付着したときは、 水でよく洗い流してください。
目に入ったときは、 失明の恐れがあります。 目をこすらずに、 すぐにキレイな水で洗い流してください。 その後、 迅速に医師にご相談ください。

## ⚠注意

### 電池は極性表示（＋／－）を確かめ正しく入れる

極性を間違えると、 液漏れ・発熱・発火・破裂などを引き起こし、 ケガの原因になります。

### 充電式電池や指定以外の電池は使用しない

指定外の電池を使用すると、液漏れ･発熱･発火･破裂などを引き起こし、ケガの原因になります。

### 電池を加熱・分解したり、 火や水の中へ入れない

液漏れ・発熱・発火・破裂などを引き起こし、 ケガの原因になります。

### 電池の電極部（＋／－）に金属物を接触させない

電池がショートし、 液漏れ・発熱・発火・破裂などを引き起こし、 ケガの原因になります。

●コイン型電池を保管・携帯するときは、 ポリ袋などに入れてください。

●廃棄する場合は電極部にビニールテープなどを貼ってください。

# もくじ

■安全上のご注意……02-04
■スピーカ設置のご注意……05
■ CD 使用上のご注意……06
■コイン型電池に関するご注意…07
■著作権についてのご注意……08
■各部のなまえ……09
■接続する……10
電源 / スピーカ / イヤホン
■ラジオを聞く……11
チューニングする
良い受信状態で聞くには
FM ステレオについて
ラジオの Q&A
■ CD を聞く……12
再生 / 一時停止 / スキップ再生
サーチ再生 / 付属リモコン
■便利な CD 再生……13
リピート / ランダムプログラム
■テープを聞く……14
準備 / 再生 / 早戻し / 早送り
■テープに録音する……15
録音のしかた
カセットテープに関するご注意
■お手入れのしかた……16
清掃 / 消磁 / 筐体
■取扱上のご注意……17
カセットテープ /CD
使用できるディスクについて
■困ったときは……18
■おもな仕様……18
■保証とアフターサービス……19
■製品保証書……20

**著作権についてのご注意**

あなたがラジオ放送や CD、 録音物から録音したものは、 個人として楽しむなどのほかは著作権法上、 権利者に無断では使用できません。

音楽の作詞、 作曲などは一般に著作権法によって保護されていますが、 放送や CD、 録音物の作品も同じように著作権法によって保護されています。

従って音楽そのものや CD、 あるいはそれらから録音したテープなどの使用には一定の制限があります。

下記の例を参照してください。

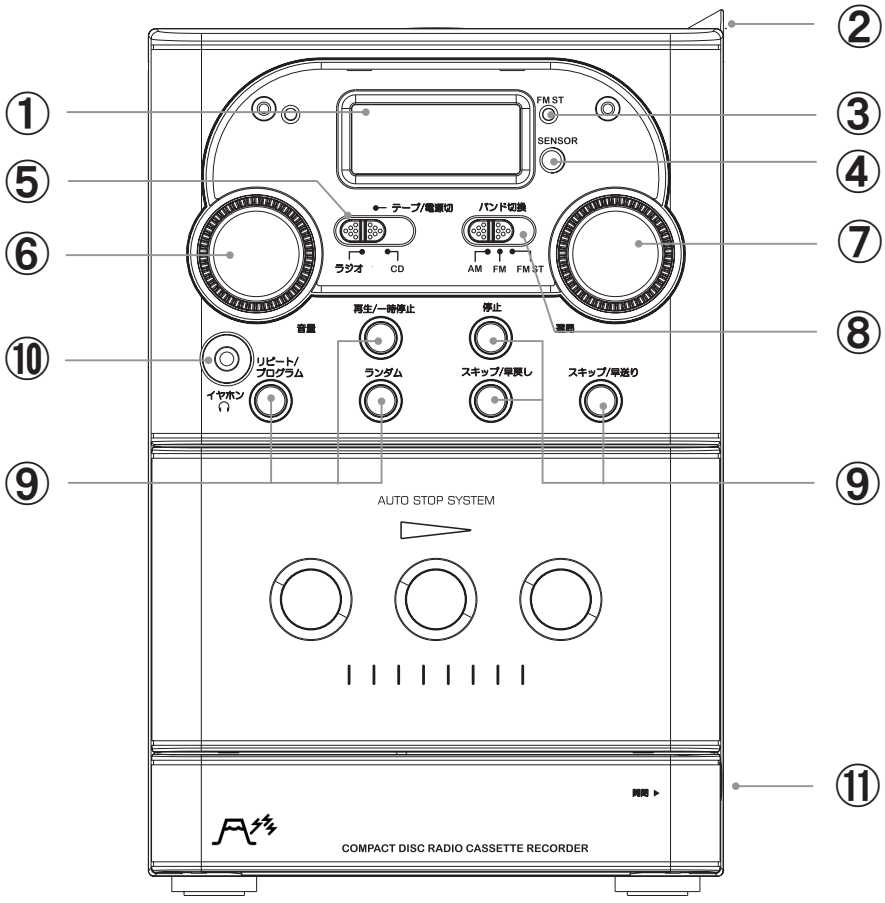
放送や CD などから録音したテープを売ったり、 配ったりすること。 あるいは貸し借りしたり、 譲ったり、 交換したりすること。

CD や録音物またはそれらから録音したテープや、 放送から録音したテープを営利 ( 店の BGM など ) のために使用すること。

これらの場合は著作権法上の権利者の許諾を必要とします。

使用条件は場合によって異なりますので、 詳しい内容や申請その他の手続きについては [ 日本音楽著作権協会におたずねください。

# 各部のなまえ




**①液晶表示部**

・CD 再生状態やラジオ周波数を表示します。

**② CD ドア開閉つまみ**

・この部分を持ちフタを開閉します。

**③ FM ステレオ表示**

・FM スレレオ受信時にランプが点灯します。

**④リモコンセンサー受光部**

・リモコンをこの部分に向け操作します。

**⑤機能切換スイッチ**

・ラジオ / テープ /CD 機能を切り換えます。

**⑥音量調整ダイヤル**

**⑦選局ダイヤル**

・周波数は液晶部に表示されます。

**⑧バンド切換スイッチ**

・AM と FM 放送を切り換えます。

**⑨ CD 操作ボタン**

・6 個のボタンは全て CD 専用です。

**⑩イヤホン端子**

・ステレオミニ端子を差し込みます。

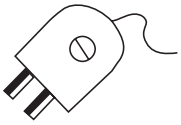
**⑪テープ操作ボタン収納つまみ**

・パネルを手前に倒すとボタンが現れます。

# 接続する

**ご注意**

接続スピーカ接続や配置が完了するまで、 電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

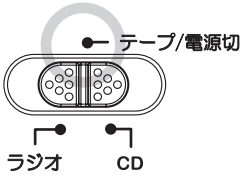


## ■電源（AC 入力）

本機の電源プラグを壁面のコンセントに確実に差し込んでください。

MEMO

電源を OFF にする場合は機能切換を [ テープ ] にしてください。




## ■スピーカ

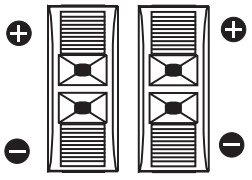
本機の背面にスピーカ入力端子がついています。

入力端子には極性 ⊕ ⊖ を色分け表示（赤、 黒）してありますので極性を確認して接続してください。

**ご注意**

回路の破壊を防止するため、 スピーカケーブルの（＋）と（－）は絶対にショートさせないでください。

付属スピーカのインピーダンスは 8 Ω です。 負荷インピーダンス 8 Ω が接続可能なアンプをご使用ください。



▲上部の赤い端子が＋（プラス）、 下部の黒い端子が－（マイナス）になります。ケーブル先端部をつまみでパチンと挟んで確実に固定してください。

## ■イヤホン（ヘッドホン）

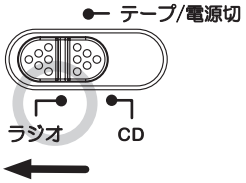
本機前面の PHONES ジャック（ φ 3.5mm）にイヤホンを接続することができます。

イヤホンでお聞きになるときは、 耳を刺激するような大きな音で長時間お聞きになることは避けてください。

**ご注意** イヤホンまたはヘッドホンでお聞きになるときは、 耳を刺激するような大きな音で長時間お聞きになることは避けてください。 聴力に悪い影響を与えることがあります。

# ラジオを聞く

## ■チューニングする




**1　機能切換を [ ラジオ ] に設定する**

**2　バンド切換で [FM] または [AM] を選択する**

**3　選局ダイヤルを回し、 放送局をチューニングする**

・周波数が液晶部に表示されます。

## ■良い受信状態で聞くには

FM：本機背面のラインアンテナの長さと方向を調節する

AM：AM アンテナは本体に内蔵されており、 ラジオの向きで受信状態が変化するので、 最も良い状態で受信できる方向に本体を向ける。

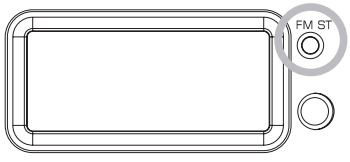
## ■ FM ステレオについて

バンド切換で [FM ステレオ (FM ST)] を選択すると、 FM ステレオ放送をお楽しみいただけます。

FM ステレオ受信時は本体の [FM ST] ランプが点灯します。

MEMO

FM ステレオ受信時に雑音が多く入る場合は [FM] に戻してください。

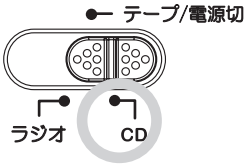



## ラジオの Q&A

| 症状 | おもな原因 | 処置 |
|---|---|---|
| 「ザーザー・ジージー」という雑音が入る | 電気器具 ( 蛍光灯やテレビなど ) から発生する放電現象や発振現象による影響 | 本機と雑音源である電気器具を離してみる |
| FM ステレオ放送の時にノイズが入る | FM ステレオの電波はモノラル電波に比べ、 変調のしかたが異なるのでノイズが混入しやすい | ラインアンテナの方向や設置場所を変更してみる |
| AM 放送の時ビート音が入る | 近くでテレビや家電を使用している | テレビや家電の電源を切り、 距離を離してみる |
| 放送が聞こえない | 機能切換を [ ラジオ ] 以外にしている | 設定を [ ラジオ ] にします |

# CD を聞く

## ■ CD の再生




**1　機能切換を [CD] に設定する**

**2　CD ドアを開け、トレイにディスクをセットする**

**3　CD ドアを閉める**

・本機がディスクを読み込み液晶部に曲数を表示します。

**4　▶/❚❚ ( 再生 / 一時停止 ) ボタンを押す**

・ボタンを押すと再生を開始します。

・再生中は曲番号が液晶部に表示されます。

**5　再生を停止する場合は ■( 停止 ) ボタンを押す**

## ■ CD 再生の一時停止

**1　再生中に ▶/❚❚ ( 再生 / 一時停止 ) ボタンを押す**

・再生を一時的に停止します。

**2　解除するには再度 ▶/❚❚ ( 再生 / 一時停止 ) ボタンを押す**

## ■ CD スキップ再生 ( 曲を飛び越す )

**再生中に ⏮または⏭ ボタンを押す**

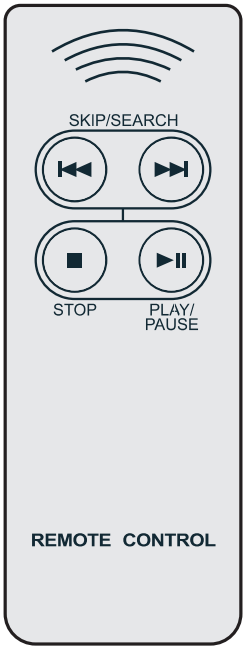
・押した方向に、 押した回数だけ飛び越します。

## ■ CD サーチ再生 ( 早送り / 早戻しする )

**再生中に ⏮または⏭ ボタンをを押し続ける**

・キーを離したところから再生します。

## CD 専用リモコン




### 付属リモコンについて

本機には CD 専用リモコンが付属しております。 リモコンのキーは 4 つで、 使用できる機能は上記の基本機能 ( 再生、 一時停止、 停止、 スキップ、 早戻し、 早送り ) が操作可能です。

# 便利な CD 再生

## ■リピート再生 ( 一曲 / 全曲 )

**1 再生中に [ リピート / プログラム ] ボタンを押す**

・リピート表示が [ 点滅 ] し、 一曲リピート再生が始まります。

**2 全曲リピート再生するには再度ボタンを押す**

・リピート表示が [ 点灯 ] し、 全曲リピート再生が始まります。

**3 リピートを解除するには表示が消えるまでボタンを押す**

## ■ランダム再生

**1 [ ランダム ] ボタンを押す**

・液晶画面に [RANDOM] 表示が点灯します。

**2 ▶/❚❚ ( 再生 / 一時停止 ) ボタンを押す**

・ランダム再生を開始します。

**3 ランダム再生を解除するには再度 [ ランダム ] ボタンを押す**

・液晶画面の表示が消え、 ランダム再生を停止します。

## ■ CD プログラム再生 ( 予約演奏 )

本機は最大 20 曲までの CD プログラム再生が可能です。
プログラム再生中はディスプレイに [PROGRAM] 表示が現れます。
プログラム設定は CD の再生が停止した状態で行ってください。

**1 [ リピート / プログラム ] ボタンを押す**

・ディスプレイに [01] と [PROGRAM] 表示が点滅します。

**2 ◀◀ または ▶▶ を押し、 最初のプログラム曲を選択する**

**3 [ リピート / プログラム ] ボタンを押す**

・選択した曲がプログラムされます。

・ディスプレイに [02] と [PROGRAM] 表示が点滅します。

**4 同様の手順を繰り返し、 2 曲目以降をプログラムする**

**5 プログラム終了後、 ▶/❚❚ ( 再生 / 一時停止 ) ボタンを押す**

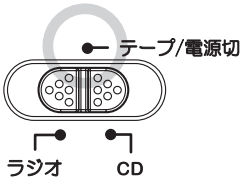
・プログラム再生を開始します。

MEMO

CD 以外 ( テープまたはラジオ ) を選択するとプログラムは解除されます。

# テープを聞く

## ■再生 / 録音の準備




**1　機能切換を [ テープ / 電源切 ] に設定する**

**2　■/⏏( 停止 / 取出し ) を押し、 カセットホルダを開く**

**3　再生する面を手前にしてテープを挿入し、 カセットホルダを閉める**

**ご注意**

テープを取出すときは必ず本機の再生を停止させてください。

## ■再生のしかた

**1　▶ ( 再生 ) を押す**

・再生を開始します。
・音量を調節してください。

**2　再生を停止する場合は ■/⏏ ( 停止 / 取出し ) を押す**

## ■早戻し / 早送りについて

**1　◀◀ または ▶▶ を押す**

・押した方向にテープを急速に早戻しまたは早送りします。

**2　動作を止めるには ■/⏏ ( 停止 / 取出し ) を押す**

・停止状態になります。

## ■カセット操作ボタンについて

カセットテープの操作ボタンは本体下部にあります。
テープ操作を行う場合はパネルを開けてください。
操作ボタンは下記の配列です。

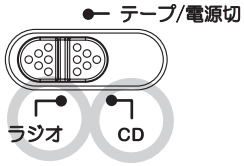
| 録音 | 再生 | 早戻し | 早送り | 停止 / 開 | 一時停止 |
|---|---|---|---|---|---|
| ● | ▶ | ◀◀ | ▶▶ | ■⏏ | ❚❚ |

**オートストップについて**

録音、 再生のときに、 テープが終端までくると、 自動的に各ボタンが解除され、 停止状態になります。

# テープに録音する

## ■録音のしかた




**1　録音ソースを選ぶ。**

**機能切換で [ ラジオ ] または [CD] を選択する**

・CD は停止状態にしておきます。

**2　カセットテープを挿入する**

・カセットテープは録音面を手前にしてください。

・ノーマルテープ (TYPE Ⅰ ) を使用します。

・テープのリーダー部分は巻いておいてください。

**3　カセットデッキ部の●( 録音 ) ボタンを押す**

・同時に ▶( 再生 ) ボタンも同時に押し込まれ、 録音を開始します。

・録音レベルは自動で調節されます。

・CD から録音する場合は録音開始の直前に CD を再生してください。

**4　録音を停止するには ■/⏏ ( 停止 / 取出し ) を押す**

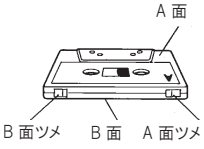
---

**■誤消去防止について**

カセットテープには、 1 面用と 2 面用に“安全片”が各 1 個ついています。

誤消去を防止するには“安全片”をドライバーなどで折り取ります。

再び録音するには折り取った穴をセロハンテープなどでふさぎます。



▲穴をテープなどでふさぐと
再録音が可能になります

## カセットテープに関するご注意

■ノーマル (Type Ⅰ ) 以外のテープはご利用にならないでください
メタルテープ (TYPE Ⅳ ) やフェリクロームテープ (Type Ⅲ )、 ハイポジション / クロームポジション (Type Ⅱ ) はご使用できません。 ヘッドが磨耗したりフラットな周波数特性が得られません。
■ C-90(90 分用 ) までのテープをご使用ください
C-120 タイプのカセットテープはご使用にならないでください。 テープが大変薄いので、 ちょっとしたご使用の不注意で、 テープが巻き込んだり、 切れたり、 伸びたりすることがあります。

# お手入れのしかた

## ■ヘッド部の清掃

**いつもよい音を楽しむため、 約 10 時間ご使用ごとにヘッド部とキャプスタン、 ピンチローラーの清掃をしてください。**

**1　電源を OFF にし、 イジェクトボタンを押す**

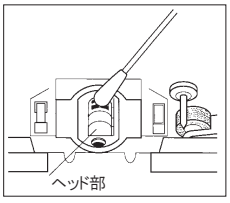
・カセットホルダを完全に開きます。

**2　綿棒または、 やわらかい布で汚れをふき取る**

MEMO

汚れがひどいときは、 綿棒または布に少量のアルコールを浸してふき取ってください。

市販の清掃キットを使うと便利です。




▲約 10 時間ご使用ごとにお手入れしてください

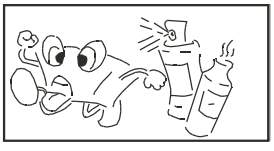
## ■ヘッド部の消磁

**常に最高の音質でご使用いただくため、 約 50 時間ご使用ごとにヘッドの消磁をしてください。**

テープデッキのヘッドは長時間使用するとわずかに帯磁します。 帯磁することにより、 ノイズを増加させ高域の出力が低下し、 大切な録音済みテープにノイズが入ったりすることがあります。 録音・再生する前にヘッドイレーサーで定期的にテープデッキの消磁が必要です。 消磁には市販の消磁器をご使用ください。

## ■筐体のお手入れ

やわらかい布でふいてください。 汚れがひどいときは、 石鹸水を少し布につけてふき、 あとはからぶきしてください。

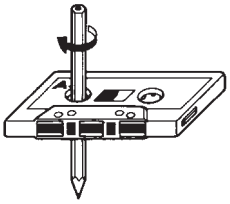


**ご注意**

ベンジンや殺虫剤をかけますと変質や変色の原因になりますのでご使用にならないでください。

# 取扱上のご注意

## ■カセットテープ



テープをたるませたままでご使用になると、トラブルの原因になりますので、
鉛筆などでたるみを取って ( 右図参照 ) 再生してください。
テープを引き出したり、 指で触れたりすることも避けてください。
テープはそのまま放置せず、 必ずケースに収めて保管してください。

**避けて欲しい保管場所**
高温 (35℃以上 ) や多湿 (80%以上 ) のところ。
磁気のあるところ ( スピーカの近くやテレビの上など )。 直射日光の当たるところ。

## ■ CD

コンパクトディスクの汚れやごみ、 キズ、 そりなどが雑音の原因になることがあります。

次のことにご注意ください。

- ●ディスクをケースから取り出す場合は演奏面にキズを付けないようにディスクの端を持ってください。
- ●ディスクを折り曲げないようにしてください。
- ●従来のレコード盤に使用されているレコードクリーナーやスプレーおよび静電気防止剤は使用できません。
- ●コンパクトディスクに指紋等が付いて汚れたときは、 水を含ませた柔らかい布で拭いた後、 乾いた布で拭いてください。
- ●ディスクを拭くときは、 必ず内側から外側方向に拭いてください。 同心円上のキズは雑音になりやすいためです。

▲ディスクの端を持ちます

▲内側から外側へ向けてふく

▲円周方向のキズは NG です

## ■使用できるディスク (CD/CD-R/CD-RW) について

本機は CD 規格 (CD-DA) で記録され、録音終了時にファイナライズされた CD-R と CD-RW 再生に対応しています。
ディスクのレーベル面に図のロゴが表記されているディスクのみを再生できます。
DVD やビデオ CD など、 非対応のディスクは故障や事故の原因になりますので絶対に再生しないでください。

ご注意
CD-R/RW ディスクであっても、 ディスクの種類や記録するレコーダー、 記録に用いるライティングソフトによっては再生できない場合もあります。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO
COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable
COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable

# 困ったときは

修理をご依頼になる前に一度ご確認ください。

| 症状 | 原因と対策 |
|---|---|
| 音が出ない | 機能切換の位置をご確認し、 正しく[ ラジオ ]または[CD]、[ テープ ]に設定してください。 |
| | 音量のレベルを確認する |
| | イヤホンを接続している場合はイヤホン端子から取り外してください。 |
| 録音ボタンが押し込めない | カセットテープの安全片が折り取られている場合は安全片のあるテープを使用してください。 |
| テープの再生音が悪い | ヘッドが汚れている場合は掃除してください。 |
| | ヘッドが帯磁している場合は消磁してください。 |
| CD を装着してもディスプレイに総曲数が表示されない | ディスクが裏表逆に入っている。<br>ディスクに傷が付いている。<br>ディスクが汚れている。<br>ディスクが反っている。<br>規格外のディスクを挿入している。 |
| CD の特定箇所を正しく演奏しない | ディスクが汚れている。<br>ディスクに傷が付いている。 |
| リモコンが正常に作動しない | 付属のリモコンは CD 専用です。<br>ディスクが挿入されていない。<br>リモコンの電池が消耗している。 |

# おもな仕様

| 総合 | |
|---|---|
| 電源･周波数 | AC100V |
| 定格消費電力 | 18W |
| 総合定格出力 | 2.0W+2.0W |
| イヤホン端子 | ステレオミニ端子 (1) |
| **ラジオ部** | |
| FM 受信帯域 | 76.0 ～ 108.0MHz<br>(TV1 ～ 3ch) |
| AM 受信帯域 | 520 ～ 1650kHz |
| **カセット部** | |
| トラック方式 | 2トラック 4ch ステレオ |
| 録音方式 | 自動レベル交流バイアス |
| 消去方式 | 交流消去 |
| テープ速度 | 4.75cm/sec |
| ワウ･フラッタ | 0.35% (WRMS) 以下 |
| 周波数特性 | 125 ～ 10,000Hz( ノーマル ) |

| CD 部 | |
|---|---|
| 読取方式 | 非接触光学式読取 |
| ピックアップ | 3 ビーム半導体レーザー方式 |
| DA 変換 | 16 ビットリニア |
| デジタルフィルタ | 2 倍オーバーサンプリング |
| ワウ･フラッタ | ± 0.001%以下 |
| 周波数特性 | 20 ～ 20,000Hz |
| **外形寸法 ( 幅×高×奥 )/ 質量** | |
| 本体 | W150 × H220 × D200mm |
| | 約 2.5kg |
| スピーカ | W140 × H220 × D130mm |
| | 約 0.5kg(1 個 ) |

■デザインや仕様につきましては予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

# 保証とアフターサービス

**保証書はこの取扱説明書に付属していますので、 必ず [ 販売店 ] や [ ご購入日 ] などの記載を確かめ、 保証内容などをよくお読みください。 保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。**

## 修理を依頼されるときは

まず本書にしたがってもう一度操作していただき、 直らないときに次の処置をしてください。
症状はできるだけ詳しくお知らせください。

### 保証期間中

・保証書の規定に従い、 お買い上げの販売店か弊社が修理させていただきます。

・製品に保証書を添えてご送付ください。

### 保証期間が過ぎているとき

・お買い上げの販売店にご相談ください。

・修理によって使用できる製品につきましてはご希望により有料で修理させていただきます。

### ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分にいたしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。
夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。
窓を閉めたり、 ヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。
お互いに気を配り、 快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです

音のエチケット

## 愛情点検　長年ご使用の AV 機器の点検を！

こんな症状はございませんか？

- ●電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ●電源コードやプラグにヒビが入っている。
- ●電気が入ったり切れたりする。
- ●異常な音や臭い、 発熱がある。
- ●その他の異常や故障、 不具合がある。

**すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。** 必ず電器店に点検をご依頼ください。 費用等も併せてご相談ください。

# 製品保証書

本書はお買い上げ日から下記期間中、 故障が発生した場合には本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。 This warranty valid only in Japan.

## 保証規定

1) 取扱説明書に従った正常な使用で故障した場合にはお買い上げの販売店が無料修理いたします。
2) 無償修理をご依頼になる場合には、 製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご相談ください。
3) 製品保証書は再発行いたしません。
4) 本書は日本国内においてのみ有効です。
5) 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
   i ) 製品保証書のご提示がない場合。
   ii ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   iii ) 製品保証書にお客さまのお名前、 お買い上げ店名印、 お買い上げ日の記載がない場合。
   iv ) 製品保証書の字句を書き換えられた場合。
   v ) お買い上げ後の輸送、 移動時の落下などによる故障および損傷。
   vi ) 火災、 地震、 水害、 落雷、 その他天災地変および公害、 塩害、 異常電圧などによる損傷および故障。
   vii ) 車両や船舶等に搭載された場合に生ずる損傷および故障。
   viii ) 業務用など一般家庭以外の用途で使用された場合に生じた損傷および故障。

| | |
|---|---|
| 機 種 名 | |
| 保証期間 | お買い上げ日から 本体 1 年間 |
| ご購入日 | |
| お 客 様 | |
| 販 売 店 | |


**フジ電器出版 ( 説明書作成 )**

〒 556-0003 大阪市浪速区恵美須西 3-14-35-1403
でんわ (06) 6648-0444 ( ご相談窓口 )
電話受付時間 / 午前 9 時～午後 5 時 ( 土日祝除く )